

— 誇り・交流・夢 —



うきは

No.51

平成29年11月1日

(平成29年9月議会号)

市議会だより

CONTENTS

つたえる (上程された主な議案) …… 2~5

決算特別委員会 (平成28年度決算231億9,324万円を認定)

…… 6~7

市政を問う (一般質問) …… 8~11

委員会報告 (総務産業・厚生文教) …… 12~13

議会報告会 (平成29年度市民みなさんとの意見交換会)

…… 14~15

町並みの花・編集後記 …… 16





上程された主な議案

- ◇報告（平成28年度財政健全化判断比率及び資金不足比率・
うきはの里株式会社経営状況） 2件
- ◇補正予算（一般会計及び特別会計） 9件
- ◇人事案件（人権擁護委員の推薦） 1件
- ◇訴えの提起 2件
- ◇決算認定（平成28年度一般会計及び特別会計） 9件
- ◇請願（教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分1復元・
浮羽カントリークラブへのアクセス道路拡幅） 2件
- ◇追加議案
- ◇発議（うきは市議会基本条例の一部を改正する条例の制定） 1件
- ◇意見書（全国森林環境税の創設・教育予算の確保と充実） 2件

◆報告

▽平成28年度財政健全化判断比率

9月8日に招集された市議会定例会は、右記の上程された議案・追加議案を審議し、全議案を議決して19日間の会期を終えました。

9月議会は「決算議会」と呼ばれています。

今回は、人口減少などを主とした、2年を過ぎた地方創生「うきは市ルネッサンス戦略」構想、特に決算認定につき、集中的審議を行いました。

うきは市の財政状況は、黒字とはいえ、地方公共団体の財政力指数「1」に対し、平成24年度以降わずかに上昇しつつあるものの、平成28年度の3カ年平均財政力指数0・37（前年度0・364）と弱く、厳しい状況であり、地方創生交付金、地方交付税、補助金など国・県に依存する実情です。

▽うきはの里株式会社 「道の駅」経営状況

熊本地震の影響により4月～6月の3ヶ月間で前年度比1万5千人の客数減となりましたが、「九州じゃらん」で九州山口道の駅人気度ナンバーワンに2年連続選ばれたことで知名度が増し、純売上高は9億5千9百万円となり、前年度比3千2百万円の増加となりました。

6月に立ち上げた「うきは地域総合商社」については、事業計画を作り、外販活動やオンラインシヨップ等準備を行い、また、メディアに数多く取り上げられたことなど、今後も集客等に大きく期待するところです。



道の駅うきは

平成29年度 一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ4億3433万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ165億8364万円としたものです。主な収入と支出は、下表のとおりです。

主な収入

- ◇地方交付税 2億1941万円
(普通交付税)
- ◇分担金・負担金 642万円
(衛生費分担金・農地災害復旧費負担金)
- ◇国庫支出金 7951万円
(公共土木施設災害復旧費負担金・総務管理、児童福祉、道路橋りょう、住宅費補助金)
- ◇県支出金(県補助金) 413万円
(児童福祉、農林水産業施設災害復旧費・△農業、林業費)
- ◇財産収入 1805万円
- ◇繰入金 △5億1546万円
(後期高齢者医療事業特別会計・ふるさと創生基金・△財政調整基金)
- ◇繰越金(前年度繰越金) 1億6281万円
- ◇市債 4億5570万円

主な支出

- ◇総務費 2億9574万円
(主に財政調整基金・うきは市民センター2階改修・吉井庁舎東側駐車場整備・九州北部豪雨義援金ほか)
- ◇民生費 887万円
(児童クラブ運営委託料)
- ◇農林水産業費 △524万円
(畜産費・林業振興費)
- ◇土木費 3614万円
(△交通円滑化対策、道路舗装修繕工事費・道路維持修繕、橋りょう改修、道路改良舗装工事費、危険家屋等除却事業費補助金ほか)
- ◇教育費 8204万円
(△少人数指導特別教員賃金・総合体育館改修工事費、備品購入費)
- ◇災害復旧費 2070万円
(農地災害、公共土木施設災害復旧費)

◆一般会計補正予算

▽債務負担行為

総合福祉センター指定管理料

期間・平成30年度～平成32年度

不登校・引きこもり対策相談支援事業や学習支援、就労準備支援事業等「社会福祉法人うきは市社会福祉協議会」へ委託しています。

うきは市の地域福祉など多くの公益性のある事業を委託していることから、指定管理にあたって、契約額の算定根拠を明確にするよう求め、センター備品の点検確認を実施するよう要望しました。

学童保育所運営業務委託料

(吉井・千年・御幸)

期間・平成30年度～平成32年度

現在学童保育所に通う児童の保護者会に業務委託をしているものを、医療・社会福祉法人・一般人又は非営利法人などに委託するものです。

保護者会の負担軽減を希望する3学童から始めることとし、最終的に児童の健全育成が図られることが目的であり、委託先選定にあたり、国が示す当初目標の処遇改善等が図られることを求めました。

▽庁舎管理費

吉井庁舎東側駐車場整備費について、生涯学習センター建設に伴い、市民駐車場の拡張・整備を図るものです。

【用地購入費585万5千円

事業費1100万円】

うきは市民センター2階に「地域包括支援センター」を設置するものです。

【設計管理105万円

工事費991万円】



改修されるうきは市民センター

▽諸費

九州北部豪雨義援金

【800万円】

朝倉市へ400万円、東峰村と大分県日田市へ各200万円の災害見舞金を贈りました。



市消防団による行方不明者捜索

▽放課後児童対策費

国の平成29年度、児童クラブ運営給付額の算定額変更により、市内の市立を含めた8学童に運営委託料として交付するものです。

【886万9千円】

▽労働諸費

無料職業紹介所（ユービック）の設置に伴う人件費等を補正するものです。

【204万9千円】

配置する嘱託職員の人選については一般企業の労務経験者などを対象として募集を行います。

▽観光費

九州北部豪雨災害による被災地観光物産PR事業で、災害による風評被害解消のため、朝倉市・添田町・東峰村とともに、うきは市が支援事業地域に指定され、観光協会やJAなどが行うイベントに県が3分の2を補助するため、その残りの3分の1を市が補助するものです。

【100万円】

▽道路維持費

社会資本整備総合交付金の不交付内示により事業費の減額です。

【舗装設計委託料 △660万円

交通円滑化対策工事費

△1300万円

舗装修繕工事費△5000万円】

次の2項目は、追加に必要な増額補正です。

道路維持修繕工事費

【1400万円】

橋りょう改修工事費

【5880万円】

▽道路新設改良費

道路改良及び舗装に必要な増額補正です。

【3070万円】

▽空家等対策費

危険家屋等除却件数が増える見込みでの補正です。（4件）

【200万円】

判定方法について、外見の老朽度チェックの他周辺に及ぼす危険度が基準表で「100点」を超えものであり、遠方の所有者には、近隣からの苦情の知らせや補助事業の案内を郵送しています。



空き家

▽非常備消防費

7月5日の九州北部豪雨による行方不明者捜索のため出動した団員（8日間で643人分）の費用弁償を支払いました。

今後の出動見込み分の補正です。

【131万5千円】

▽体育施設費

うきは市立総合体育館

(うきはアリーナ) 【1億円】

屋根改修工事8000万円、トレーニングルームの機器購入費2000万円を増額するものです。

改修は、屋根に「反射・断熱コーティング材」の施工と換気工事をし、室温を下げるものです。

また、機器購入は耐用年数が過ぎたマシンを入れ替えるものです。

財源は、地方創生拠点整備交付金9500万円、一般財源500万円とし、年度内執行を前提に申請しています。

▽農地災害復旧費

7月5日に被災した、中島畑及び袋野地区の農地復旧工事費です。 【1270万円】

中島畑の土地所有者の負担割合は、2割程度が地元負担の予定です。

▽公共土木施設災害復旧費

7月5日に被災した、市道小坂流川線の柿畑法面崩壊復旧工事費です。 【800万円】

◆特別会計補正予算

▽うきは市立自動車学校

事業費

トイレ修繕、高齢者用ドライブレコーダー購入等

【361万3千円】

3月に改正道路交通法が施行されましたが、入校生に対し不利益等は生じていません。

高齢者講習も受講者の更新時期が違うため今までのように3ヶ月待ちなどは無く、スムーズに進んでいます。



うきは市立自動車学校

◆人事案件

▽人権擁護委員の推薦

委員 堀江 朱美

任期 平成30年1月1日

から平成32年12月31日

(3年間)



◆訴えの提起

▽差押債権取立金請求事件

一、S M B C コンシューマー

ファイナンス株式会社

一、新生フィナンシャル株式会社

滞納市税を徴収するため、滞納者が第三債務者である相手方に対して有する不当利得返還請求権及び年5分の割合による利息の支払請求権を差し押さえ、相手方に対しその支払いを求めたが、期限までに納付がないため、訴えにより支払いを求めめるものです。

◆請願

1号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択の要請。
※全会一致で採択しました。

2号 浮羽カントリークラブへのアークセス道路拡幅等に関する請願。
※更なる現地調査など、継続審査となりました。

◆発議

うきは市議会基本条例の一部を改正する条例
「議会報告会」を「情報及び意見交換の場」に改める。

議会は市政の諸課題に柔軟に対処するため、市政全般にわたって、市民との情報及び意見交換の場を設けることができるものとする。
※全会一致で可決しました。

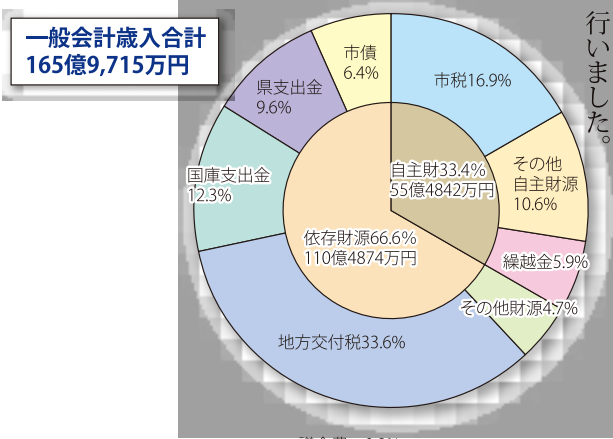
◆意見書

一、「全国森林環境税」の創設に関する意見書の提出。

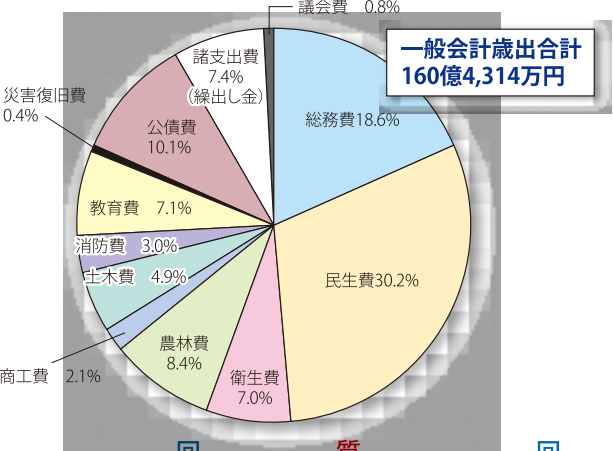
提出者議員 熊懐 和明
一、教育予算の確保と充実を求め
る意見書の提出。
提出者議員 大越 秀男

※2件とも全会一致で可決しました。

平成28年度 歳入・歳出決算 認定



決算審査は、9月14日～21日まで、議員全員による決算特別委員会（委員長・藤田・副委員長・江藤）を開き、市の政策・事務及び事業について、決められた予算の主旨・目的の通り執行されたか「費用対効果」など、審査検証を行いました。



決算審査は、9月14日～21日まで、議員全員による決算特別委員会（委員長・藤田・副委員長・江藤）を開き、市の政策・事務及び事業について、決められた予算の主旨・目的の通り執行されたか「費用対効果」など、審査検証を行いました。

（総括質疑）

質問…政策の中心にコミュニティとしての未加入問題と滞納への取組み、人口減少歯止めがあるが決意のほどは。

回答…未加入は大きな課題で窓口でもお願いし、滞納は組織体制をしっかりと行い、人口減少を止めるため、しっかりと行います。

質問…32年から交付税が一本算定になるが、的確な執行で不用額を早めにチェックして見直し、有効に使うよう求める。

回答…交付税は合併10年経過と人口減少で大幅の落ち込みをしているが、身の丈に合った財政執行と見直しへの対応をしっかりと

していきます。

質問…人口減少は行政が旗振りして少しでも減少を止める決意を。

回答…ルネッサンス戦略に掲げている目標に向け実行していきます。

質問…財政（予算）規模が160億を超え大きいこと、基金（貯金）が増え続けているが。

回答…ルネッサンス戦略の取組みや鷹取工業団地整備等が要因。基金はあるべき姿を考え対応していくようにします。

（税務）

質問…固定資産評価税の登記上所有者で不明な状況はどの程度か。

回答…2割くらい該当し、その場合は相続人代表者に納税をしてもらっている状況が有ります。

（徴収対策）

質問…マイナンバー制度導入によって把握できるシステムが構築されているが、同じ人が理由を付けて払わないのでは。

回答…所得隠しによって増えているとは限らない、悪質な滞納者は収入状況を確認しながら財産調査を行い実施していきます。

平成28年度各税の課税と徴収状況（前年滞納繰り越し分を含む）（単位：千円）

税目	収入済額	徴収率	前年徴収率	滞納額
市民税	1,132,509	96.0%	95.2%	43,007
固定資産税	1,359,039	94.5%	93.7%	67,865
軽自動車税	110,132	94.5%	93.7%	5,519
たばこ税	195,615	100.0%	100.0%	0
入湯税	7,577	100.0%	100.0%	0
国民健康保険税	862,772	80.3%	78.7%	182,201
後期高齢者医療保険料	285,928	98.7%	98.5%	1,495
介護保険料	657,636	98.9%	98.8%	15,808
保育料	161,265	97.1%	97.6%	4,757
市営住宅使用料	63,214	76.2%	73.2%	17,665
簡易・専用水道使用料	24,016	71.8%	65.3%	5,454
下水道分担金・使用料	416,879	90.3%	88.5%	43,305
農業集落排水施設使用料	4,727	98.9%	96.8%	55
浄化槽分担金・使用料	15,327	95.9%	95.5%	500
合計	5,296,636	92.2%	91.2%	387,631

税金の滞納状況は



(消防防災)

質問…消防団員の定員520人確保についての策は。

回答…費用弁償の見直し・安全靴の支給・補助の見直しを行い、行革委員会、消防委員会で引き続き討議していきます。

質問…高齢者見守り事業で、行政区に自主防災組織があるのか、土砂災害区域はどうなっているか。

回答…現在、93の行政区に自主防災組織があり、土砂災害区域は35か所全部が見守り事業に入っています。

(福祉)

質問…うきは市の自殺防止対策は。

回答…対策協議会を年2回開き、啓発とゲートキーパーを行っていきます。

*ゲートキーパーとは
自殺の危険を示すサインを見逃さず、適切な対応をする役割を果たす人のことです。

質問…高齢者見守りの災害時への対応について。

回答…防災との共同運用は行っていないが、広域消防との関係で緊急時に連携できるように現在検討しています。

(保育)

質問…29年2月段階で隠れ待機者はいるのか。

回答…国の基準で言うところ職活動しない人は対象外になりますが、39名おりますが、それにあたるとは思います。

(農政)

質問…若い人の就農で兼業農家への指導なり協議会での検討もしていると思うが大規模だけでなく育成を考えてほしい。

回答…小さな規模でも道の駅販売もあり地域農業につながれば良いと考えています。

質問…野生鳥獣被害について、箱わなや電気柵が有効と思うが、駆除班が高齢化し、県の補助に独自に乗せする自治体等事例があり、効果のある実効予算を検討して頂きたい。

回答…広域的に情報交換をしながら取り組んでいるが、複合林化などが重要ではないかなど対策を行いながら、待ったなしの課題なので意見は参考にさせていただきます。

質問…何年

作付け、草刈りをすれば放棄地にならないか、休耕地はつかんでいないのか。

回答…休耕作地への対応は必要で、改善は徐々に進んでいます。担い手の確保について課題があると考えると考えています。



(単位:千円)

	地方債残高の状況	27年度末 現在高	28年度 発行額	主な事業	28年度元利 償還額	現在高
1	公共事業等債	94,587	39,000		14,744	119,303
2	公営住宅建設事業債	1,200,426	86,600	新治団地改築	81,182	1,221,993
3	災害復旧事業債	715,331	22,100		25,773	713,370
4	(旧) 緊急防災・減債事業債	299,800	0		42,387	258,571
5	全国防災事業債	57,400	0		315	57,400
6	教育・福祉施設等整備事業債	799,816	7,500		100,814	719,474
7	一般単独事業債	3,507,084	442,600	道路整備・福富エニティ整備・保育所整備	767,659	3,215,063
8	辺地対策事業債	288,591	54,000	道路改良	79,330	265,586
9	国の予算貸付等債	732	0		758	0
10	財源対策債	439,555	18,300	農業農村整備	73,492	390,955
11	減税補てん債	139,465	0		26,097	114,662
12	臨時税収補てん債	27,216	0		13,950	13,743
13	臨時財政対策債	6,123,473	394,246		405,260	6,156,648
14	都道府県貸付金	7,391	0		806	6,585
	一般会計合計額	13,700,867	1,064,346		1,632,567	13,253,353
15	下水道事業	11,468,810	34,600	接続率76.5%	688,248	11,028,082
16	簡易水道事業	104,425	0		6,080	100,547
17	農業集落排水事業	97,801	0		13,331	88,302
18	浄化槽整備事業	152,507	2,800		7,561	150,576
19	住宅等貸付事業	5,551	0		2,291	3,480
	特別会計合計額	11,829,094	37,400		717,511	11,370,987
	総合計額	25,529,961	1,101,746		2,350,078	24,624,340

地方債等の借入の状況

9月議会 市政を問う!

9月11・12日の2日間、市長・教育長に7名の議員が一般質問に立ち、行政のさまざまな課題が提起されました。

一般質問の記事欄は、議員本人から提出された原稿をもとに作成しています。

障害者差別解消法について 市長の基本方針は



さとう たんよう
佐藤 湛陽 議員

解消を図るための必要な活動を

実施していくことです(市長)

佐藤 職員や関係機関に対し、基本方針をどのように伝え、どう取り組んで来たのか。

市長 障害者差別解消に対する理解を深めるため、職員、関係事業所、住民を対象に啓発運動を実施してきました。

佐藤 学校教育・社会教育の面から、障害者施設事件後に取られた取り組みや施策は。

教育長 事件後に出された文科省事務連絡等をもとに、安全確保と心の教育の両面から小・中学校の取り組みを進めています。

●●● 障害者支援対策について

佐藤 障害者自立支援法の施行から10年が経ったが、市の軽減措置状況は。

市長 市独自の軽減措置はありますが、法に準じた負担区分を適切に運用しています。

佐藤 国は要支援者について、市町村に対し、災害時における個別計画を定めるよう促しているが。

市長 自主防災組織や行政区で避難支援体制を構築していただくよう関係者をお願いしています。

●●● 奨学金制度について

佐藤 市が行う奨学金制度に、大学卒業後本市に住む場合は、返済額の全額または一部免除等何かの特典を設けるなど、ある種の戦略的な制度を構築すべきと思うが。

市長 今後、国や県の施策の動向、近隣市町村の状況を踏まえ検討していきます。



障害者差別解消研修

公共施設整備に

PFI方式採用を



いさやま しげき
諫山 茂樹 議員

PFIについて研修を行い、平成32年度着手に向け進めます(市長)

諫山 PFI法も制定され、国からの交付金・民間の資金・経営能力・技術的能力等を効率的に活用し、設計建設維持管理を一体的に扱う事で事業コストの削減が期待できるので、公営住宅建設から採用するよう提案する。

市長 西隈上団地に民間の資金・経営能力・技術的能力等を効率的に活用するため、国交省に推進の申請を行い採択されたので、全額国費で支援を受け進めます。

諫山 3月一般質問で他に官民連携の良い方法を勉強すると回答だったが、その進捗状況は**市長** 社会資本整備等に民間と知恵を出し合い、ノウハウを生かしてサービス向上に努めます。

●●自動体外式除細動器設置

諫山 AEDは電気ショックで正常な拍動に戻す装置で、安心安全なまちづくりの観点から何台

設置され、不足なら増設すべきと思うが。

市長 現在31台設置していますが、高額なため増設の計画はありません。

諫山 自治協議会にも人命尊重と安全の面から必要と思うが。

市長 施設の使用頻度や費用の面から引き続き検討します。

●●●中学校の空調設備設置

諫山 空調設備設置に伴い、省エネ対応と夏休み短縮で学力向上に充てて頂くよう要望する。

教育長 最大需要電力抑制や空調運用指針にて指導し、休み短縮は新学習指導要領で検討します。

PFIとは

民間の資金・経営能力及び技術能力を活用して公共施設等の建設・維持管理・運営等を行う公共事業を実施するための手法



従来の方法で建設した新治団地

「避難勧告・指示」 実行性を問う



えとう よしみつ
江藤 芳光 議員

空振りしても見逃し三振はない(市長)

江藤 福富地区4千人に発令した「避難指示」、避難したのはたったの2人。市防災は市民の立場に立っていないのではないか。

市長 今、国でも「逃げ遅れゼロ」が叫ばれており、水防防災意識社会の再構築に向け、市民の皆さんと協議を進めています。

江藤 区長委嘱が解かれ、区長

は自分の区に「誰が、どこに、何人」住んでいるのかさえわからない。だから区長は責任を持ってないし、誰も責任をもたない。

市長 災害の初動時には自助・隣り合う共助が一番重要であり、これらのあり方を市民にしっかりと訴えて行きます。

●●●市役所組織と人材育成

江藤 今後10年、急速に細る市職員の年齢構成は、組織の先進的かつ総合力向上に向けた組織改革に着手する好機と捉えるが、その見解と対応を伺う。

市長 ご指摘のとおり、人事等が停滞しないような対策を講じる時期にあり、質の高い行政サービスを提供する効果的な体制づくりが求められています。また、魅力あるまちづくりを進めるためにも、求める人材の採用を通じて組織の体制強化を図って行きたいと考えています。



明日は我が身 とにかく逃げろ！

九州北部豪雨災害上空写真(7月7日撮影)
朝倉市杷木星丸松末小学校付近(株)バスコ提供

避難勧告・指示を発令する 時期と範囲は的確か



ふじた みつひろ
藤田 光彦 議員

気象庁、県の情報を勘案して適切にしています(市長)

藤田 指定されてる避難場所と箇所数は適正か。

市長 必ずしも十分とは認識してません。今後、民間施設も協定締結し指定していきたいし、自主避難所は、区公民館も自治協議会や各区と協議してまいります。

藤田 避難支持等関係者の名簿開示は、自主防災組織に提供できているのか。

市長 情報提供同意者分は、各区長に配布しています。

藤田 地域に勧告や指示を伝える手段は、防災行政無線などで確実に情報が伝わるのか。

市長 災害時要援護者支援制度の中で充実を図ります。



減災対策を(耳納連山北麓)

藤田 「うきは市総合防災マップ」で想定されてる災害が起きる可能性が高い箇所と減災対策は、計画的に見直されているのか。

市長 危険箇所多数の為、近々に見直す予定はありません。

藤田 耳納北麓地域に点在するため池の防災対策の把握と整備をその後、どう進めているのか。

市長 地元との連携手法の確立に、技術力を有する農地防災・災害アドバイザーの活用を検討していきます。

藤田 地域防災の学習会を地域の特性を考慮して市全域に展開したらどうか。

市長 各自治協議会や区に多くの講習会を開催していきます。

●●● **教職員の長時間労働の改革を**

藤田 教職員の出勤時間等の把握はどうやっているか。

教育長 管理職による現認です。

就学援助の認定基準の 底上げを



いわぶち かずあき
岩淵 和明 議員

慎重に検討したいと考えます(市長)

岩淵 近隣の自治体が導入している制度の導入を求めるが。

市長 近隣の久留米市、小郡市は、生活保護基準の1.3倍で、シミュレーションすると受給者が小学校で161人が307人に、中学校で89人が145人に増え、予算が平成29年度の1.9倍になり、電算システム等の導入が必要で、引き続き慎重に検討してまいります。

岩淵 これを設定していない市は、福岡県で何か所か。

市長 市単位で2か所だと承知しています。

岩淵 生活困窮世帯に適切に対処すると言う意味では市長の姿勢だと思うが、実施しない理由を改めて伺う。

市長 子ども貧困対策にはいろいろ対応し、子ども未来応援ネットワーク事業の具現化を図ろうとしています。

子ども医療費、保育料の減免、任意接種への公費補助とか、しっかりやっているとこです。就学援助事業は、もともと国がやるべきではないかというのが私の強い考えで、国に十分な財源措置を講ずるよう、声を上げていくところです。

岩淵 国民健康保険の県単位化について、うきは市の国保運営協議会審議はいつ頃何回計画しているか。

市長 福岡県が標準保険料を算出し10月末納付金額を提示するので、納付に見合う保険税率の審議を11・12月開催し、今年4・5回予定となります。



教育の機会均等で学ぶ楽しさを

広域災害用具収納管理は



うえの きょうこ
上野 恭子 議員

県や社協と相談し検討(市長)

上野 旧東高校を広域災害活用

ステーションとして国へ整備依頼はできないか、また道の駅円形劇場から朝倉被災地山筋が見えるが被災地復興支援コンサート(オカリナ)等行ってみては。
市長 旧東高跡地は売却を考慮しており整備を行う考えは持っておりませんが、また円形劇場オープン記念行事は提案の被災地復興支援も踏まえ協議を進めます。

●●● **小学校の空調整備設置について**

上野 近年事故にもつながりかねない猛暑だが、空調設備設置の検討と設置予定時期はどうか。
教育長 教室の温度調査を依頼しており結果を踏まえ学校施設個別管理計画の中で検討してまいりますと考えます。

●●● **町かど博物館について**

上野 市には歴史資料館・博物館といろいろあるが町並みの食事ができる場所に「町かど博物館」をつくり来客の次の出足

に繋げてはどうか。

教育長 「市外観光客が訪れ食事のできる施設にあわせ市の歴史文化に触れる事ができるコーナーを設けては」の提案は市を広くPRできる取組みに繋がるのではと思います、関連施設と協議をして地域観光の振興と町の賑わいに繋がる取組とし、検討して参りたいと思います。

上野 新生涯学習センター等にも装飾古墳のレプリカ設置は。生涯学習課長 含めて検討します。

その他の質問

◎ **市職員の接客接遇向上について**



円形劇場

山間地域の小学校統廃合、過疎化、人口減少にどう対応



みその さんじろう
三園 三次郎 議員

自然、人材を生かす大きな舞台は姫治、今後、移住、定住の施策を進める(市長)

三園 うきは市全域で人口が減少し、山間地域の三小学校の統廃合は、山間地は益々の過疎化を危惧しているが、人口減少に、どう対処されるのか。

市長 小学校の統廃合は、より良い教育環境を目的に地域の同意を得ながら進めて行き、姫治地区の振興策は、統廃合後の跡地の活用など大きな課題となり

地元と知恵を出し合い、地区の魅力をもつの方々に伝え、活性化に努力してまいりたいと考えています。

●●● **交通弱者の移動手段確保**

三園 中心部から離れた山間地は、路線バスが相次いで廃止され、公共交通機関から見放された現状で、平坦部でも公共交通機関がない地域の交通弱者の移動手段の確保をどうするのか。

市長 各自治協議会の地域計画には、将来の地域課題の解決手段として福富、江南、妹川、新

川、小塩地区が、コミュニティバスの自主運行を課題としているが、バスの確保、維持管理費の捻出、運転手の確保など課題も多く法的関係を含め、自治協議会内で学習検討を進めたいと考えています。

●●● **免許返納、生活に支障**

三園 改正道路交通法が施行され、高齢者の免許返納が増加し老後の生活に支障が出ているが、交通手段の確保は、最優先課題ではないか。

市長 免許返納に伴う高齢者等の交通手段の確保は、重要な施策課題と考え、公共交通手段をどう利用して行くか総合的に検討し対策を考えます。



平成30年3月末で廃校になる姫治小学校全景

総務産業常任委員会

◆農業者意向調査に基づく

「うきは農業振興政策」調査

調査日：平成29年8月18日

調査要旨…農業問題は、全国的に農業者の高齢化、担い手不在等、ますます農業全体の衰退が予測される危機的な状況を踏まえ、今後将来に向けた農業者の意識を把握するため、平成25年に実施した結果と今年の調査結果を比較し総合的な見地から実態評価を行いました。

主な議論

まず、今回の集計結果と前回の比較における動向収集により実態とは乖離が否めず、4年前の数値とが微動にとどまる点は、調査の回答者が主たる農業従事者であり、今後の農業を危惧するが故に、希望的観測を持って回答されたのではないかと思われました。

意見・要望

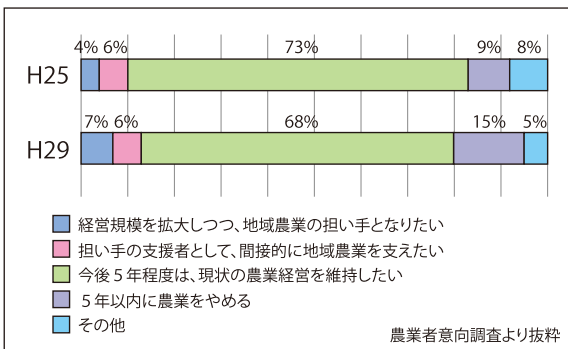
- ① 中山間地振興の具体策（有害鳥獣被害防止策含む）

- ② 営農法人化・経営農業への振興策
- ③ 農地利用・集積・荒廃地対策
- ④ 人材育成（新規農業者育成支援）及び深刻化する人出不足による雇用の確保
- ⑤ 儲かる農業（米から野菜等への転作）、海外輸出

など多くの意見等が提出されており、

所見…農業問題は中山間地農業の持続・保全にとどまらず危機的な状況にあり、うきは市創生の基として、思い切った政策を打ち出す好機にあると確信します。

今後の地域農業への関わり



◆常任委員会指摘事項に対する市民協働推進課の検討結果報告

一、自主防災組織の整備及び体制機能の充実

(1) 自主防災組織結成の推進について

計画的な防災体制を確立するため必要であり、結成を推進していきます。

平成28年度 6区増
平成29年度 8区増

現在合計で93組織となっています。

(2) 組織の実効性確保について

① 小規模行政区への対応は自治協議会と協議します。

② 隣接区の支援体制をはかります。

(3) 自主防災組織の育成について

① 自治協議会を市と行政区の中間指導組織として位置づけます。

② 自主防災組織全区を対象に研修会を開催します。

二、「避難勧告・指示」発令における避難体制の実効性

(1) 指定避難場所の検討について
校区毎に再検討します。

(2) 行政区公民館の避難所としての活用について
自治協議会の協力を得ながら、避難所としての開放を各所に依頼していきます。

(3) 物資の備え付けについて
コミュニティセンターに必要な物資(毛布・マット・食糧・水等)を備え付けることを自治協議会と協議します。

(4) 消防団による避難誘導について

消防団車両による避難広報を要請します。ただし災害発生時は、応急対応を優先とします。



避難訓練

厚生文教常任委員会

◇うきはアリーナの現状と課題 に関する調査

調査日：平成29年7月20日

調査目的

「うきはアリーナ」は24年度より民間の知識とノウハウを生かす目的に、指定管理者制度を導入しています。

今年度末で事業者の指定期間が満了することから、事業の取り組み状況や参加人数、施設管理の課題、従業員の指導教育の現状について調査を行いました。

調査結果

機器は、平成21年5月に設置したもので、シートの破れや破損箇所をテープで補強するなど、経年劣化の傾向がありました。

また、冬場の結露がひどく、水滴が床板に染み込み一部で変色や腐っている箇所も見られるなど、基準に基づく適正なメンテナンスと修繕及び更新が必要と思われる。

今年7月「うきは三井小郡ブルックの中体連女子バレーボール大会」で、熱中症とみられる症状を訴えた市外の女子生徒8名が病院に救急搬送される事例も発生しています。

利用者の安全確保、プロリーグ等の誘致しやすい環境を整備する面からも、施設機能として、空調設備の必要性の有無について検討が必要ではないかとの意見がありました。

所見

開設以来9年を経過し、近年の利用者は年間約15万人、通算では86万人を超えています。

年間約4,200万円の指定管理料を市から支払っています。今後の維持管理に関わる費用を見据え、改めて利用料金の検証を行い、利用者の意見を聞きながら、開催教室の内容や未使用時間帯の対応策など、指定管理者との協議を積極的に行いながら、効率的で効果上がる施策を講じるよう求めました。



◇重要文化的景観及びポサーダ の現状に関する調査

調査日：平成29年8月22日

調査目的

「うきは市文化財保存活用基本計画」が平成26年3月に策定され、その進捗状況の調査を行いました。

所見

(重要文化的景観)

伝統と代々の生業文化を次世代へと継承していくことが目的でありますが、地域の高齢化だけではなく人口減少がさらに続くと思われる、住民生活の過度な負担とならないように努め、地域の活性化と定住促進に繋げていただきたい。

(ポサーダ)

地域の活性化と復興のシンボルとしての目的がありますが、昨年の法改正により、宿泊施設としての機能が十分に発揮できていない状況で、追加工事が完了する10月から本格オープンとなります。今後とも進捗状況を確認していきます。



ポサーダ内装工事

(屋形古墳群整備)

前期・中期・後期と計画されており、今年度はガイダンス拠点施設の設計費と土地買収費用が予算計上されています。

うきは市の宝である歴史的遺産の保存・保護や整備活用は、大変重要な施策でありますので、住民の理解と協力が得られるよう丁寧な説明を求めました。



「白壁ホール」の絨帳に描かれている珍敷塚古墳の壁画

平成29年度「議会報告会」を開催しました

“市民みなさんとの意見交換”

5月19日（金）から8月29日（火）にかけて下記開催日の11日間、議員15名を3班に分け、自治協議会11組織の会場で開催しました。資料に基づき報告を行い、その後、活発な質疑応答・意見交換が行われました。参加いただいた市民の皆様にご心より感謝を申し上げます。

【報告内容】

1. うきは市の暮らし
2. うきは市の貯金と借金の比較
3. 平成29年度うきは市の借金返済
4. 地方創生総合戦略『ルネッサンス戦略』
5. 『公共施設等総合管理計画』
6. 上水道計画と下水道事業の現状
7. ごみ固化燃料（RDF）

【班編成議員名】

【1班】 大越（班長）・鏝水・佐藤・諫山・高山

【2班】 岩淵（班長）・熊懐・上野・江藤・藤田

【3班】 三園（班長）・中野・伊藤・櫛川・岩佐

※御幸校区については、今回初めてグループワーク形式にて行いました。

開催日	校区	班	参加人数
5月19日（金）	大石	3班	29
5月23日（火）	山春	1班	17
5月26日（金）	江南	3班	29
6月28日（水）	吉井	1班	21
6月29日（木）	千年	1班	66
7月3日（月）	田籠	1班	20
7月10日（月）	妹川	2班	16
7月11日（火）	小塩	2班	21
7月21日（金）	新川	3班	24
7月24日（月）	福富	2班	24
8月29日（火）	御幸	2班	46
合計			313

※昨年の参加人数 256人

◆アンケート結果（主な内容）

- ・参加者年齢： 50代11.4%、
60代57.5%、
70代20.1%、
50代以上で約89%
- ・参加回数： 初参加28.9%、
2回目19.9%、
3回目以上51.3%
- ・開催了知： 広報うきは32.1%、
地域役員より30.2%、
防災無線14.0%
- ・開始時間： ちょうど良い80.2%
(19時から) (一部地域で時間変更)
- ・所要時間： ちょうど良い78.4%、
(2時間) 長い15.9%
- ・内容： 普通60.8%、
良かった37.3%



議会報告会(吉井地区)



議員との率直な意見交換



議会報告会でのグループワーク(御幸地区)

議会報告会での市行政への主な意見・要望

	意見・要望事項	市行政の回答
1	山3校の統廃合問題、特に小塩地区は山村振興と一体となった、総合的かつ実効ある対策によって、地域との合意形成を図るべきである。	今後とも各地区自治協議会や、地域の皆さまとしっかり協議を行ってまいります。
2	学校統廃合後の校舎の利活用について、観光等に活かさないか。また、地域活性化の拠点としていくともあるが、地域が寂れるのではないか。	学校統廃合後の校舎の利活用については、地域の皆さまと協議を重ねながら、有効な活用方法を検討してまいります。
3	コミュニティビジネスの展開（大石地区の「絆事業」、ヤマト運輸の配達業務受託ほか）を推進してほしい。	「コミュニティビジネス」の取り組みにつきましては、各地区自治協議会の地域計画においても位置づけられております。各地区自治協議会が主体的にそれぞれの地区の課題や実状にあった事業を検討していけるよう助言指導を行ってまいります。
4	人口減少は社会保障が不十分だからだ。地方創生は市民を巻き込んでいない、市民の声を聴いてほしい。	うきは市の地方創生事業については、平成27年に策定した「うきは市ルネッサンス戦略」に基づき取り組んでいるところです。地域住民代表等が参加している「ルネッサンス戦略推進協議会」において戦略の進行管理を行っております。今後も市民の皆さまの声を伺いながら、地方創生事業に取り組んでまいります。
5	高齢者の運転免許証返納について、返納者に対する市としての特典や交通弱者に対する交通手段の確保を考えてほしい。	高齢者の運転免許証自主返納に対する特典は、高齢者を交通事故の加害者にさせないための政策であります。返納後の交通手段確保の問題解決にはつながりません。うきは市立自動車学校では、高齢者講習に積極的に取り組んでおり、高齢者の交通安全確保に対する取り組みのさらなる充実を図ってまいりたいと考えております。
6	災害危機における住民への緊急避難の呼びかけや支援など、個人情報保護制度により、区長でさえ「誰がどこに住んでいるかもわからず」対応のしようがない。区民の生命にかかわることであり、行政は制度に固執するのではなく、現実を目を向けて対応すべきではないか。（消防団員確保についても、若者がどこに住んでいるかもわからない）	災害時の避難行動に支援が必要な方の情報については、災害時要援者名簿を作成し、区長、消防団を始め関係者に配布させていただいております。また、消防団勧誘の際、必要があれば申し出に応じて地域を限定した対象者リストを提供させていただきます。
7	野生鳥獣の解体施設が欲しいが、どうしてもだめなら、他自治体の施設が利用できるような策を考えてほしい。	ジビエ活用に向けた処理施設については、採算面など経営的な面からみて、うきは市単独での整備につきましては厳しいと考えております。近隣自治体の状況等を調査し、広域的な連携を視野に入れながら、引き続き検討してまいります。
8	眞美野地区の再開発として、新規就農者受け入れの道路拡張整備及び小塩地区振興を図る施策として、宅地等の造成の検討をお願いします。	道路拡張につきましては、大野原・小松堀線の拡張を年次計画で行っており、今後も随時整備してまいります。地域の振興施策として空き家バンク制度やリフォーム補助制度等を活用しながら、移住定住を推進してまいりたいと考えております。
9	姫治地区の市営住宅の家賃が高すぎるのでは。子育て世代の若い人を入居させるなら、軽減を図ってほしい。また今後払い下げの検討が必要ではないか。	姫治地区の公営住宅については、今年の3月議会において所得上限の緩和を図るための条例改正を行いました。また、払い下げについては引き続き県と協議・調整を図って参ります。
10	未加入問題の対象は、アパート等の借家世帯が殆どで、奏功例としては、区の取り決めにより「住宅（1戸建て）は無論、アパート等の建設計画時に区長の子承を得ることで未加入者はない。」とする例（今川通区）が示されたが、総意として、行政が何とかしない限り、地区での解決は困難である。	区未加入問題につきましては、市としては転入届受付時に区加入をお願いしております。各区において既に未加入となっている世帯については、市と各地区自治協議会とで実態把握や方策について、引き続き協議してまいります。
11	県道にはみ出している樹木の伐採を県にお願いしてほしい。バスや大型車の通行に支障が出ている。	地元からの要望につきましては、現地確認を行うとともに、随時福岡県久留米県土整備事務所へ報告と要望を行っておりますが、引き続き要望してまいります。
12	巨瀬川の土砂堆積による豪雨時の災害危機を解消するため、浚渫を強く県に要望してほしい。	巨瀬川の土砂浚渫は、治水上大変重要であると認識しております。福岡県久留米県土整備事務所へは日頃から要望を行っておりますが、引き続き要望してまいります。

うきは市の町並みの 花シリーズ「秋」



十五夜の月と月下美人



きばなコスモス



アゲハ



菊芋



けいとう



シラジヤ



ノボタン



金木犀



サルビア



萩

傍聴へどうぞ

12月議会は12月8日(金)開会予定

一般質問は12月11日(月)、12日(火)の2日間行われる予定です。
*インターネットの配信を、ライブ中継、録画放送で行ってます。
QRコードからでもアクセスできます。



九州豪雨の各被災地(朝倉市・東峰村・日田市)に対し議会として議員個人で、計45万円を義援しました。

編集後記



今年もやっぱり秋が来て冬が訪れる季節、日本の四季が私たちの生きる支えや、拠り所としてきました。

今年の暑さと大雨は、劇的な気候変動の暗示に思えます。

人間が生きるため耕作する農業が、いかに脆弱なものか、気候変動の責任にとどまらず、自国の食を支える太い方針が必要に思う。

T P P ・ F T A 等の国際化への対応も重要だが、日本の国の気候が育む作物を、維持管理する人々への感謝と礼賛、そして国民みんなが大切と思う政治姿勢が後退してはいないか、決算特別委員会の審査から思いました。

(岩淵)

発行責任者

議長 櫛川 正男

広報広聴委員会

委員長 副議長
副委員長 委員

藤田 光彦
中野 義信
佐藤 湛陽
熊懷 和明
鍵水 英一
岩淵 和明

議会事務局

TEL 75-4990
FAX 75-3342